
高校生活

佐野綾美

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

高校生活

【Nコード】

N3052B

【作者名】

佐野綾美

【あらすじ】

ごく普通(?)の少女、河原華恋と、最低な男、如月悠也は同じクラスになった。悠也には色々な悪い噂が流れている。そんな悠也に振り回される華恋の恋愛は複雑になっていく…

始まり

―桜が舞い散る四月、華恋は緑ヶ丘高等学校に入学した。太陽の光は皆を照らし、瞳は輝いていた。

「―新入生代表、河原華恋。」

はい、と返事をし立ち上がる。華恋は300点満点中290点をとった。本当は満点をとった生徒がいるらしいが断わったらしい。華恋は原稿をスラスラ読み上げた。

華恋は顔が整っており、身長160cmに対し体重38kgで豊富な胸が有るため、言い寄ってくる男が非常に多い。入学式が終わり休憩時間になると、近づく男達に良い顔をして話をする。

―男なんて下心の塊よ― そう思い教室に戻る。

隣の席の男子を見る。そこには、長身、180はあるだろう、そして茶髪。長いまつげ、指。ピアス。瞳は宝石の様に綺麗な緑。総てがパーフェクトな美男子がいた。この男、名を如月悠也キサラギユウヤと言う。悠也が華恋をギロツと睨む。ずっと自分を見ていたからだろう。華恋は黙って席に着く。

担任になる先生が教室に入ってきて出席をとる。若いなあ、とボ―つとしながら声を聞いていると

「……………れん、…河原華恋!!」

と聞こえた。ハツと我に振り返りで

「はい!!」

と返事をした。何気無く隣を見ると、フツと鼻で笑っている。

「ちよつと、アンタ、笑う事ないでしょ。」

と華恋は言う。だが悠也是無視している。その態度に苛立った華恋は「失礼な男。」

と言いつた。

—こんな失礼な男と同じクラスなんて！！
と華恋は思った。

高校に入学してから3日後の事である。華恋は放課後、2年生の先輩3人に、体育館倉庫に呼び出された。

体育館倉庫なんて…呼び出しはやっぱりお決まりの場所なのね。と思いつながら目的地に向かう。

体育館倉庫に入ってみたが誰一人いない。

その時

「――いい気になってんじゃねえよ!!」

と後ろからいきなり声がした。驚いて後ろを向いたときにはもう遅かった。

――鍵が閉められている。――「ちょっと!!そういう事して良いと思ってるんですか!？」

華恋は叫ぶが、外からは先輩達の小さな笑い声しか聞こえない。その声はどんどん離れていった。

――なんで私がこんな目に…――

――かなりの時間が経っただろう。もうお腹がなりはじめている。叫ぶ気力はなく、ただただ助けを待っていた。

その時、

「ガンツ!!」

と、突然ドアが振動して揺れた。誰かが鍵のかかったドアを外から蹴り倒そうとしている。

4、5回蹴っていたら、ドアが外れ倒れた。ホコリが舞い咳をした。ドアを蹴っていた人の顔を見た。

「……!!」

そこにいたのは、如月悠也だった。意外さに声が出ず、ただ啞然としていた。

「……なんだ、アンタか。」

「………あ。…どうも……」

やっと声が出た華恋は礼を言った。悠也は

「別に」

と呟いた。

「な、何かお礼するよ！お金がかかるモノはダメだけど…」

「……礼？」

「…う、うん……」

華恋の声は少し震えていた。緊張していたからだ。相手が意外で、声をずっと出していなかったので尚更だろう。

「…じゃあ」

視界が突然変わった。唇には温かい何かが触れていた。

それは一瞬の事だった。直ぐに視界は元通りになり、唇には何も触れていない。華恋は今の出来事を理解するのに時間がかかった。

「……っキ……」

「キス位良いだろ。挨拶代わりだ」

そう言っただけで如月は帰ってしまった。

「わ、…私のファーストキスが…挨拶に……！！しかも最低な男に……！！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3052b/>

高校生活

2011年1月23日14時31分発行